

* この取扱説明書はご使用前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

* この取扱説明書はいつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

* この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

バイク用スマートフォンケース

商品 NO.

別記

■ ご使用前に必ず内容をご確認ください ■

この商品の使用をもって本書記載の内容全てを理解・承諾したものとみなします。ご使用前に必ずご確認ください。

■ 禁止 ■

- * 運転者が走行中にスマートフォンやカーナビ、携帯電話などの画面を注視したり、電話機能を使用したりすることは法令で禁止されており大変危険です。前方不注意による重大な事故の原因ともなりますので、法令を遵守し安全運転を心掛けてください。
- * 設計外径 (φ22 ~ 29) 以外のバー、異形バーへのクランプ取り付けは不可。
- * 設計重量制限(200g まで)を越える機種の収納は不可。
- * 内外を問わず、ケース透明窓部に痕が残るような過度な力を加えないでください。ケース透明窓部の変形・傷つきは元に戻せません。
- * ケース内部が濡れた状態で放置しないでください。生地の変質や素材剥離、カビ発生などの原因となります。
- * この商品のロックパーツ(クランプ先端部品)の分解は不可。
- * この商品(構成部品含む)ならびに関連組み付け部品が、車体部位など他に接触するような取り付けは不可。
- * この商品の素材を侵す溶剤・ケミカル類の使用は不可。

■ 防水性などの免責事項 ■

- * この商品のケース本体に防水性はありません。製品構造上、ケース透明窓の縫製部やファスナー部などからケース内部に浸水しますので、収納物の水濡れ対策は全て使用者本人のリスクにおいて行ってください。
- * この商品に収納物を外力や雨水、熱、振動などから保護する機能はありません。収納物の傷つき・防水・防塵・防熱・防振などの保護対策は全て使用者本人のリスクにおいて行ってください。

■ その他 ■

- * この商品に保証書は付属しません。ご使用にあたり商品(構成部品含む)や収納物、車両、使用者本人や第三者に如何なる不具合や不利益、事故損害が発生したとしても、当社ではその賠償の責任を一切負いかねます。全て使用者本人のリスクにおいてご使用ください。
- * 素材と製造方法、製品個体差などにより、仕上がり品質はお手元の商品程度となります。ケース透明窓部のたわみや縫製部の仕上がり、樹脂部品のウェルドラインなど、程度の差につきましてはご了承ください。
- * この商品のケース透明窓部を介して、指紋認証や iPhone 7/Plus の感圧センサーは反応しません。
- * ケース透明窓部を介してのタッチパネル操作は、所定の静電容量が得られる条件下でないと正しく反応しません。機種画面保護ケースやグローブ(タッチパネル対応・非対応問わず)使用時などは条件がさらに厳しくなり、ケース透明窓部と機種画面を十分密着させたとしても、透明窓部を介さない状態と比べ操作性が悪くなる(または反応しない)場合があります。ご了承ください。
- * ハンドルクランプ部品にロックした後のケースは、工具を使わず向きを 360° 回転調整<反時計回り>できますが、製品構造上若干のバックラッシュが生じます。ご了承ください。
- * この商品は予告なく仕様や価格を変更する場合があります。

■ 実施 ■

- * 商品開梱時や取り付け・取り扱い時に、パッケージや商品の端面・バリなどで予期せぬ怪我や事故が発生する場合があります。十分ご注意ください。
- * 商品開梱の際は、構成部品や外観に不備・異常がないことを必ずご確認ください。万一お気付きの点がございましたら、ご使用前のこの段階でお買い求めの販売店に速やかにご相談ください。
- * ハンドルクランプ部からのケース着脱はワンタッチで行える構造となっておりますが、所定の操作が正しく行われないと着脱が困難となる場合があります。車体装着後の商品固定角度やスペースの有無などによっては条件がさらに厳しくなる場合があります。無理な操作は予期せぬ怪我や部品破損の原因となります。所定のケース着脱操作に十分慣れたうえでご使用を開始してください。
- * ケースに収納する機種の実機サイズは使用者により異なります。所定の寸法範囲内であっても、機種の形状や仕様、ご使用になる保護ケースなどによっては収納できない場合があります。お客様の実機にて事前に十分ご確認ください。
- * 電源ボタン、カメラ、スピーカー、イヤホンジャックなどの設置位置は機種により異なるため、機能に支障がでる状態での収納とならざるを得ない場合があります。事前に十分ご確認ください。
- * ケースに収納する機種の固定はお客様ご自身で工夫していただく必要があります。付属の穴付きインナーパッドを有効に活用し、実機にとって最適な収納状態を確保したうえでご使用ください。
- * 商品可動部の調整、部品の組み付け、車体への取り付け、機種の装着(収納/固定)・収納物の保護対策などは全て使用者本人のリスクにおいて行ってください。
- * この商品(構成部品含む)および収納物の盗難防止対策は全て使用者本人のリスクにおいて行ってください。
- * 舗装・未舗装路を問わず、路面の段差を乗り越える際などに発生する衝撃の度合いによっては、図らずもロックが外れる場合があります。走行振動対策や商品(構成部品含む)・収納物の落下防止対策などは全て使用者本人のリスクにおいて行ってください。
- * 付属のストラップは、ケース本体の向き調整(反時計回りに 360° 回転調整)が完了した後で、背面アタッチメントに組み付けてください。
- * 取り付け後約 100km 走行しましたら調整可動部や固定部など各部を点検し、ボルト類の増し締めを行ってください。その後は約 500km 毎に定期点検・増し締めを行ってください。これら作業を怠ると予期せぬ不具合や事故損害が発生する場合があります。
- * この商品の構成部品は金属や樹脂を素材としております。ご使用保管環境によらずとも経年変化や使用損耗により素材劣化(変色やサビなど含む)が進行し、部品破損など予期せぬ不具合や事故損害が発生する場合があります。走行使用前に商品状態を毎回必ず点検し(調整可動部や固定部、雨水がたまりやすい箇所などは特に念入りに)、異常があれば適宜新品交換(部品または商品)してください。
- * 走行使用時に商品(構成部品含む)・収納物に何らかの異常が発生した場合は直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。また、異常が取り除けるまではご使用を一旦お止めください。

本商品の特徴

- デイトナオリジナル仕様のバイク用スマートフォンケース（簡易防滴・防塵仕様）。ケース本体（XL と M の 2 サイズ設定）の背面剛性を高め、アタッチメントを大型化することで、走行使用時に発生する小刻みなケース揺れを最小化。安定感を増しました。
 - ハンドルクランプ部品は信頼と実績の箕浦製（カラビナホール付き首振りタイプ）を採用。リジットとクイックの 2 タイプ設定。
 - 取り付け可能なハンドル外径＝φ22～29。
 - 収納物の重量＝200g 以下。
 - ハンドルクランプ部品にロックした後のケースは、工具を使わず向きを 360° 回転調整＜反時計回り＞、クランプからの着脱もワンタッチ。
- * ケースに収納する機種のご固定はお客様ご自身で工夫していただく必要があります。付属の穴付きインナーパッドを有効に活用し、実機にとって最適な収納状態を確保したうえでご使用ください。

商品ラインアップ

付属するケース本体（＋穴付きインナーパッド）のサイズ、ハンドルクランプの種別の違いで、全 4 品目ラインアップ。

- バイク用スマートフォンケース
＜XL サイズ＞ 内寸：高さ 168mm、幅 89mm、厚み 20mm

商品名	品番	税抜価格
XL Size リジットクランプ式	94805	¥5,300
XL Size クイッククランプ式	94806	¥5,300

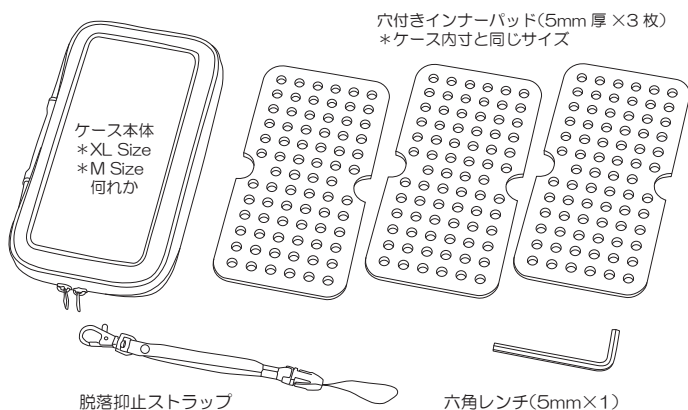
* XL Size 収納想定機種：iPhone 7/Plus、iPhone 6s/Plus など

- バイク用スマートフォンケース
＜M サイズ＞ 内寸：高さ 137mm、幅 70mm、厚み 20mm

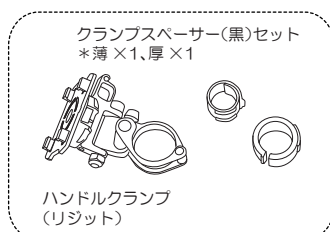
商品名	品番	税抜価格
M Size リジットクランプ式	94944	¥5,300
M Size クイッククランプ式	94945	¥5,300

* M Size 収納想定機種：iPhone SE/5s/5c など

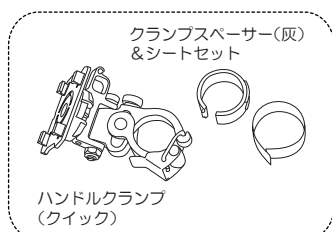
商品構成



* ハンドルクランプは 2 タイプ設定 *

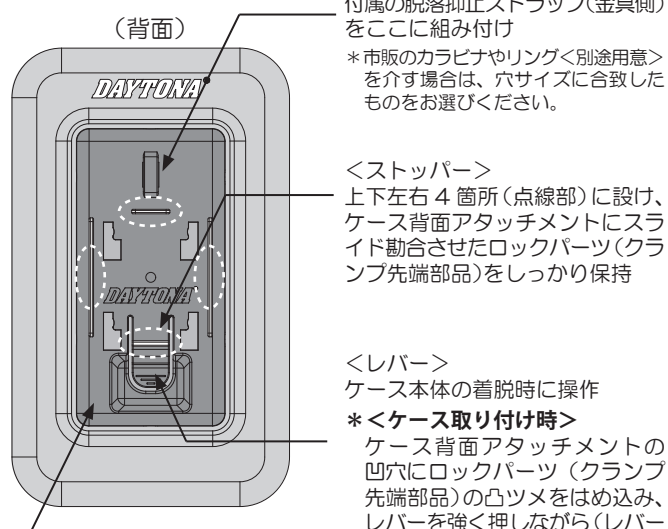
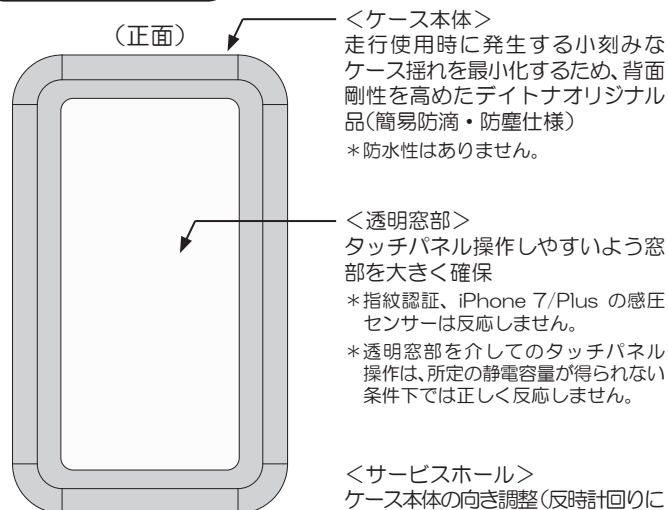


リジットクランプ式
＜ボルト留めでしっかり固定！＞



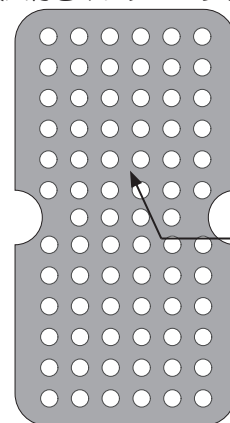
クイッククランプ式
＜工具不要で簡単着脱！＞

各部名称説明



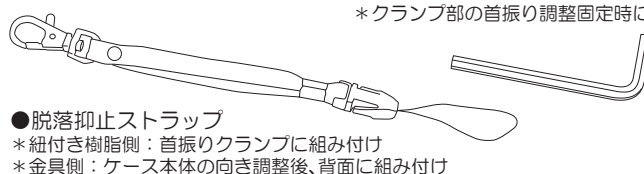
＜背面アタッチメント＞
背面剛性を高め、アタッチメントを大型化することで走行使用時に発生する小刻みなケース揺れを最小化。安定感を増しました

(穴付きインナーパッド)

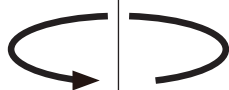
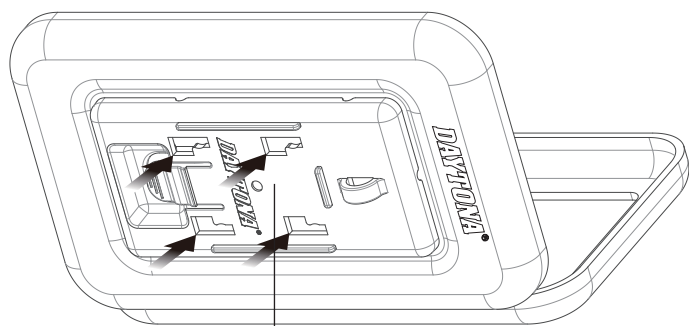


＜穴付きインナーパッド＞
各ケース付属のインナーパッド(5mm 厚 × 3 枚)を穴付きにし、熱の逃げ場を設けました。
* 各ケース内寸と同じサイズ。
* 穴径：XL Size φ7、M Size φ6。
* スマートフォンの熱暴走は完全に遮断できません。

- 六角レンチ(5mm×1)
* クランプ部の首振り調整固定時に使用



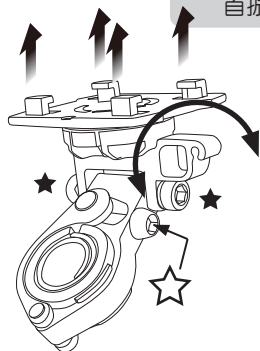
組み付け概要図



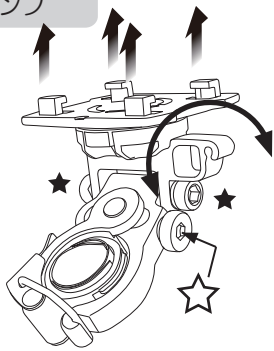
スライド動かせた後の
ケースは工具を使わず向き
を 360° 回転調整＜反時計
回り＞できます

所定の操作にて、ケース背面アタッ
チメントの凹穴にロックパーツ（クラン
プ先端部品）の凸ツメをスライド動合

カラビナホール付き
首振りクランプ



リジッドクランプ式
＜ボルト留めでしっかり固定！＞



クイッククランプ式
＜工具不要で簡単着脱！＞

付属の 5mm 六角レンチと 10mm レンチ＜別途用意＞を使用して、
上図★印の六角穴付きステンレスボルト（M6）とナイロンロックナット
（M6 用）を緩めることで、ハンドルクランプの首振り角度を調整でき
ます。調整後はボルト＆ナットを必ず本締め固定してください。

*作業時は、スレンスボルトのねじじり（焼き付き）に十分注意してください。

*付属のクランプスペーサーやクランプシートは、クランプを組み付けるハンドル
外径に合わせて適宜使用。

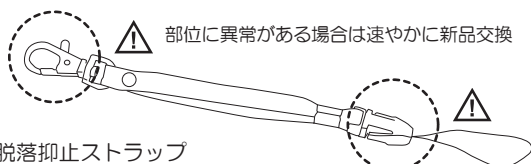
*☆印のスペシャルボルトの調整固定方法は別項参照。

ストラップ装着の重要性

⚠ 付属のストラップを正しく装着使用することで、走行使用時の不意
なケース脱落を抑止します。首振りクランプに設けられたカラビナ
ホールにストラップの紐付き樹脂側を、ケース背面アタッ
チメントに設けられたサービスホールにストラップの金具側を各々組み付け、
ケースとクランプが確実に連結された状態で必ずご使用ください。

*ストラップの金具側は、首振りクランプのカラビナホールには単独組み
付けできません。市販のカラビナやリング＜別途用意＞を介してください。

⚠ ストラップの使用消耗状態は走行使用前に毎回必ず確認し、異常が
ある場合は速やかに新品交換してください。ケースとクランプが
確実に連結されていない状態での商品使用は厳禁です。



●脱落抑止ストラップ

*紐付き樹脂側：首振りクランプに組み付け

*金具側：ケース本体の向き調整後、背面に組み付け

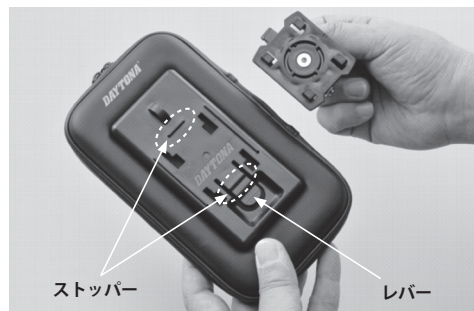
ケース本体の着脱

ハンドルクランプ部からのケース着脱はワンタッチで行える構造と
なっておりますが、所定の操作が正しく行われないと着脱が困難となる
場合があります。車体装着後の商品固定角度やスペースの有無などによ
っては条件がさらに厳しくなる場合があり、無理な操作は予期せぬ怪我
や部品破損の原因となります。所定のケース着脱操作に十分慣れたうえで
ご使用を開始してください。

＜ケースをクランプに取り付ける＞

ケース背面アタッチメントの凹穴＜4箇所＞にロックパーツ（クラン
プ先端部品）の凸ツメ＜4箇所＞をはめ込みます。

*この時、長辺方向が合致していれば、ロックパーツの組み付け向きに上下の指定
はありません。



ケース背面アタッチメントのレバーを強く押しながら（レバー側の
ストッパーを十分沈み込ませてください）、ロックパーツの凸ツメを
アタッチメントの凹穴奥までしっかりスライドさせます。

*スライド時にレバー側のストッパーが内部抵抗となるため、確実なレバー操作で
十分に沈み込ませたうえで作業してください。



ロックできていない状態（上側ストッパー側が密着していない）

「パチン」と音を立ててロックし、上下左右 4 箇所全てのストッパーで
ロックパーツ全体が動かず固定されていれば正しい状態です。

*ケース背面アタッチメンのサービスホール側のストッパーにロックパーツが密着
していない（レバー側のストッパーが露出していない）場合は正しくロックできて
いません。そこからさらに奥までスライドさせ、確実にロックしてください。



正しくロックできている状態（上下左右ストッパーで固定）

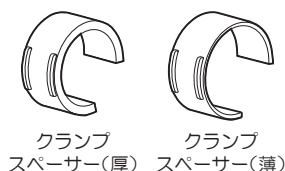
＜ケースをクランプから取り外す＞

片方の手でケース本体を、もう片方の手でクランプ部（円形の部品
あたり）をしっかり支え持ち、指でレバーを強く押しながら（レバー側
のストッパーを十分沈み込ませてください）、ロック時とは逆方向
にスライドさせる力を掛けてロックを解除し、ケースを取り外し
ます。

*レバー側のストッパーを十分沈み込めることができれば、ロック時とは逆方向
にスライドさせる力は過度に要さず、ロックは解除できます。

*車体装着後の商品固定角度やスペースの有無などによっては条件が厳しくなる場合
があります。無理な操作は予期せぬ怪我や部品破損の原因となりますので、くれ
ぐれもご注意ください。

リジットクランプの組み付け



ハンドル外径に合わせて以下の部品を選択します。ハンドル側には 20mm 以上の組み付けスペースが必要です。

- φ22：スペーサー（厚）
- φ25：スペーサー（薄）
- φ29：スペーサーなし

付属の 5mm 六角レンチを使用して既に組み立て済みのクランプを一旦分解し、左右アームを十分開いておきます。

* 分解した部品の紛失には十分注意してください。紛失した場合、部品は別途お買い求めいただくことになります。

* 開いたアームは曲がりやすいので十分注意してください。アームが変形すると、以降の手順でロールナットを再挿入できないため、形を整え直していただく必要があります。

ハンドルにスペーサーをあてがい、その上にクランプを被せ、分解した部品を元通り仮組みします。ホルダー本体の組み付け方向はこの段階で予め想定しておいてください。

* スペーサー使用時は、スペーサーの組み付け向きに注意してください。1 つリブが左右アームのヒンジ側に、2 つリブが 1 本アーム側に確実に掛かる位置で正しく組み付けてください。

* ロールナットはクランプ本体と左右アームを貫通するよう組み付けます。ボルトの斜めねじ込みを防止するため、ロールナットのねじ孔はクランプのボルト挿入孔に正しく向けてください。

スペシャルボルトをクランプのロールナットに組み付けます。まずは手締めで軽く 3 回転ほどねじ込み、ボルトがまっすぐ無理なくねじ込めることを十分確認した後、最終的に 5mm 六角レンチを使用してしっかり締め、固定します。

* 最初から六角レンチを使用してボルトを締め込まないでください。ボルトが斜めにねじ込まれると、ロールナットのねじ孔が破損します。

* ボルトの締め過ぎは厳禁。部品破損の原因となります。

ボルトがまっすぐ挿入固定され、クランプ全体が動かず固定されていれば正しい状態です。

ボルトのねじ込みが斜めになる、ボルトの頭とクランプの間に隙間が生じる、クランプ全体が動いてしまう場合は問題があります。クランプを再度分解し、仮組みから手順をやり直してください。

* 組み付け後、スペシャルボルト周辺を十分脱脂してください。油分があるとクランプの締め付けが緩む原因となります。

各クランプの首振り角度調整

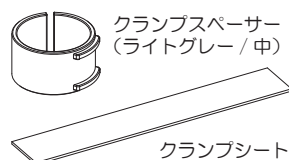
付属の 5mm 六角レンチと 10mm レンチ＜別途用意＞を使用して、クランプの首振り部根元に設けられた六角穴付きステンレスボルト (M6) とナイロンロックナット (M6 用) を緩めることで、ハンドルクランプの首振り角度を調整できます。調整後はボルト & ナットを必ず本締め固定してください。

* 別項＜組み付け概要図＞参照。

* 作業時は、スレンスボルトのねじかじり(焼き付き)に十分注意してください。

調整・本締めの作業が適切に行われないと、ステンレス製のボルトとナットが熱を帯びて溶着し、かじり(焼き付き)が発生します。元に戻せませんので、ボルト / ナットを別途お買い求めいただくことになります。くれぐれもご注意ください。

クイッククランプの組み付け



ハンドル外径に合わせて以下の部品を選択します。ハンドル側には 30mm 以上の組み付けスペースが必要です。

- φ22～25.4：クランプスペーサー
- φ25.4 超～29：クランプシート

* φ22.2 以下のハンドルにスペーサーを使用する場合は、スペーサー内径よりもハンドル外径が細いため、スペーサー樹脂がオーバーラップします。

* スペーサー樹脂がオーバーラップした状態での組み付けはオススメできませんので、スペーサーのリブがない箇所を図のように 10mm ほどカットし、ハンドルにあてがった際のスペーサーの端と端に隙間が若干生じる状態としたうえで組み付けてください。

ハンドルに上記部品をあてがい、レバーを十分に起こしたクランプをその上に重ね置き、スペシャルボルトの頭をクランプ側に十分押し付けた状態で、2 本アーム先端に設けられたリングをフックに掛けます。

* クランプ開き幅は予め仮調整しておきます。

* スペーサー使用時は、スペーサーの組み付け向きに注意してください。1 つリブが 2 本アームの開口部に、2 つリブが 1 本アーム側に確実に掛かる位置で正しく組み付けてください。

* リングをフックに掛ける際は、必ずスペシャルボルトの頭をクランプ側に十分押し込んでください。スペシャルボルトの頭とクランプの間に隙間がある状態で作業すると、リング曲がりや外れなど、予期せぬ部品破損の原因となります。

倒し込むレバーがちょうど中間地点にきた時にぐっと重くなるように、スペシャルボルトの頭を指で回し、抵抗感を最適に調整してください。

* ボルトの締め過ぎは厳禁。部品破損の原因となります。

レバーを最後まで倒した際に、適度な抵抗感で「パチン」と音を立てて閉じ、クランプ全体が動かず固定されていれば正しい状態です。

「パチン」と音がしない、ボルトの頭とクランプの間に隙間が生じる、クランプ全体が動いてしまう、抵抗が強くて閉じられない場合は問題があります。一旦レバーを起こし、スペシャルボルトの頭を指で回し、レバー倒し込みの抵抗感調整を再度やり直してください。

* クランプを閉じてからスペシャルボルトを増し締めするのは厳禁です。閉じたクランプの締め付けがかえって緩む原因となります。

* 組み付け後、スペシャルボルト周辺を十分脱脂してください。油分があるとクランプの締め付けが緩む原因となります。

DAYTONA®

販売元 株式会社 **DAYTONA** 〒437-0226 静岡県周知郡森町一宮4805
TEL 0120-60-4955 (平日午前9時～午後6時)

* 本書の記載内容の一部または全部を無断転用することを禁ず。